



関 中 学 校 だ よ り

第6号 令和3年10月29日

ホームページアドレス <http://www.seki-j.nerima-tyo.ed.jp/>

かけがえのない存在 ～そこにいてくれるだけで～

校長 大澤 秀吉

10月9日（土）に合唱コンクールを本校体育館で行いました。コロナの感染もあり、学年毎の合唱でしたが、どの学年も生徒たちのひたむきな思いが伝わってくる、とても素晴らしいものでした。

また、10月19日（火）には、講師として東京オリンピック選手村のトレーナーをつとめられた、辻端大輔さんを招き、オリンピック・パラリンピック講演会を行いました。

これらの行事を通して、一人一人がおかれた環境で自分にできることに一所懸命取り組んでいる姿に感動しました。合唱コンクールでは実行委員、伴奏者、指揮者の人達は夏休み前から準備や練習に不安や緊張感と戦いながら取り組み、歌う人たちはその想いに応えるかのように、マスクがあるにもかかわらず、体育館に響く歌声を聞かせてくれました。

また、講演会ではアスリートに対して多くの人が関わり、今自分ができること一心不乱に取り組んでいる様子や、少しでも手助けになればという想いを聴くことが出来ました。

だからこそ、アスリートの記者会見などでは「みんなに感謝しています。ありがとうございます」等のコメントが多かったのだと思います。

私は、これらの行事を通して、本人が意識する・しないに関わらず、人はお互いに影響を与えている。一所懸命活動している姿、一所懸命食べている姿、笑顔で歩いている姿などを見たとき、自分も頑張ろう、自分は何ができるのかなと考えて、よし！自分はこれをやろう。これを手伝おう。など、何かが始まる。

また、あの人がいるだけで安心する。あの人を見ているだけで元気が出る。あの人になれば、普通にしているだけなのですが、見ている人が勝手にそうとらえて判断する。

人は、そこに存在しているだけで周りの人に影響をあたえることができる。

一人一人が、誰かに何かを与えている、かけがえのない存在である。

と、考えました。

私も、朝時々見かける年配の方と目があつたので目礼をしたら「お仕事ですか？歩いている姿を見ていつも元気をもらっています」と声をかけられたことがあります。はじめは「え！？」と思いましたが、歩いているだけで自分が役に立っているのであればと「ありがとうございます」と答えていました。

皆さんは、行事を通してどのようなことを考えましたか？

生徒会役員が決定しました・・・関中生の自主的・主体的な活動を牽引する新たなリーダーです

10月1日(金) Zoomを使った立会演説会および投票が行われました。

会 長 2年 MMさん

副会長 2年 YKさん

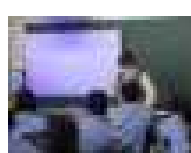
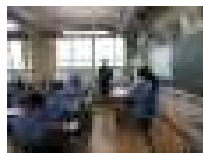
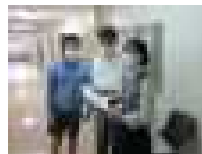
副会長 1年 YTさん

役 員 2年 TRさん

役 員 1年 NRさん

役 員 1年 HTさん

役 員 1年 WSさん



令和3年度 関中学校 合唱コンクール



令和3年10月9日(土)本校体育館において、合唱コンクールを学年別に行いました。今年度も特別審査員として塚田誠先生をお招きいたしました。塚田先生からは「静かに待っている様子や、実行委員の動き、真剣に取り組む生徒の姿、関中生はいつも素晴らしいですね」という言葉を頂きました。



当日は、PTAの皆様へ受付など様々なことをお手伝いして頂きました。

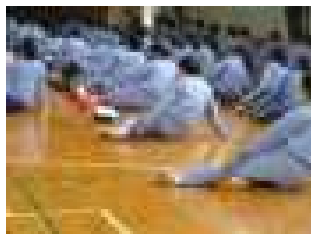
金賞 3年D組 2年D組 1年D組

銀賞 3年E組 2年B組 1年B組

*曲名に関してはHPをご参照ください。

オリンピック・パラリンピック講演会

令和3年10月19日(火)本校体育館において、理学療法士の辻端大輔さんを講師としてお招きし貴重なお話を伺うことが出来ました。辻端さんは練馬の出身であり、水泳で全国大会に出場したこと、その後アスリートたちを支える側に回って活動していることなど、東京オリンピック選手村の様子やストレッチ体験など、各学年有意義な時間を過ごすことが出来ました。



【お知らせ】

緊急事態宣言があげて幅広い教育活動を行えるようになってきました。

練馬区感染予防ガイドラインに則り調理実習なども始めていく予定です。